

(3) 環境に係る組織体制の整備に関する事項(第18号様式の3付表2)について

「環境に係る組織体制の整備に関する事項」について自己チェックするものです。
第18号様式の3付表1に記入した事業者は、第18号様式の3付表2についても記入が必要です。 化学物質の管理体制を確認のうえ報告してください。

Point!

- 環境に係る組織図及び連絡体制を記載したものと併せて提出する必要があります。
- 組織体制の整備について自己チェックを行う際には、次の2つの指針を参考にしてください。
 ①化学物質の適正な管理に関する指針 ②環境に係る組織体制の整備に関する指針

○ 提出先について

事業所ごとに作成した報告書は、**市域の事業所は市の環境保全主管課へ、町村域の事業所は県地域県政総合センター環境保全主管課へ提出してください。** 提出部数は、**市域(相模原市、横須賀市、平塚市及び藤沢市を除く)の事業所は正本1通及びその写し1通を、その他区域の事業所は正本1通**を提出してください。提出は郵送又は持参のどちらも可能です。
 ⇒市の環境保全主管課の一覧は県ホームページに掲載しています。

○ 問い合わせ先について

報告書の作成に関して不明な点がある場合は、以下の連絡先へお問い合わせ下さい。

所管区域	相談窓口	相談窓口の所在地	電話番号
鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部環境課	〒238-0006 横須賀市日の出町 2-9-19	046-823-0210 (代表)
厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	神奈川県県央地域県政総合センター環境部環境保全課	〒243-0004 厚木市水引 2-3-1	046-224-1111 (代表)
茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町	神奈川県湘南地域県政総合センター環境部環境保全課	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1	0463-22-2711 (代表)
小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	神奈川県西地域県政総合センター環境部環境保全課	〒250-0042 小田原市荻窪 350-1	0465-32-8000 (代表)
相模原市	相模原市環境経済局環境共生部環境保全課	〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15	042-769-8241
横須賀市	横須賀市環境政策部環境管理課	〒238-8550 横須賀市小川町 11	046-822-8328
平塚市	平塚市環境部環境保全課	〒254-8686 平塚市浅間町 9-1	0463-21-9764
藤沢市	藤沢市環境部環境保全課	〒251-8601 藤沢市朝日町 1-1	0466-50-3519
小田原市(排水指定物質・特定有害物質)	小田原市環境部環境保護課	〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地	0465-33-1483
茅ヶ崎市(排水指定物質・特定有害物質)	茅ヶ崎市環境部環境保全課	〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1	0467-82-1111
厚木市(排水指定物質・特定有害物質)	厚木市環境農政部生活環境課	〒243-8511 厚木市中町 3-17-17	046-225-2752
大和市(排水指定物質・特定有害物質)	大和市環境農政部生活環境保全課	〒242-8601 大和市下鶴間 1-1-1	046-260-5106

<参考> 県生活環境の保全等に関する条例関係のホームページ

- ◆ 神奈川県生活環境の保全等に関する条例 (改正概要・条文・指針・施行通知など)
 URL:<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/cnt/f41093/index.html>
- ◆ 神奈川県生活環境の保全等に関する条例における指定事業所に関する手続(手続案内・申請書ダウンロード)
 URL:<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pf7/cnt/f7569/p504845.html>

化学物質の自主的な管理状況の報告制度について

事業者*が化学物質の使用履歴と管理体制を把握するよう促し、事業者の自主管理を促進することを目的として、「化学物質の自主的な管理の状況の報告」制度を平成24年10月1日から施行しています。
 *神奈川県内の事業者(横浜市及び川崎市に所在する事業所を除く)

1 自主管理状況報告の期間及び内容について (条例第42条の3、規則第40条の4)

制度の概要

全ての指定事業所の設置者は、3年に1度、次の内容を知事に報告することとなります。

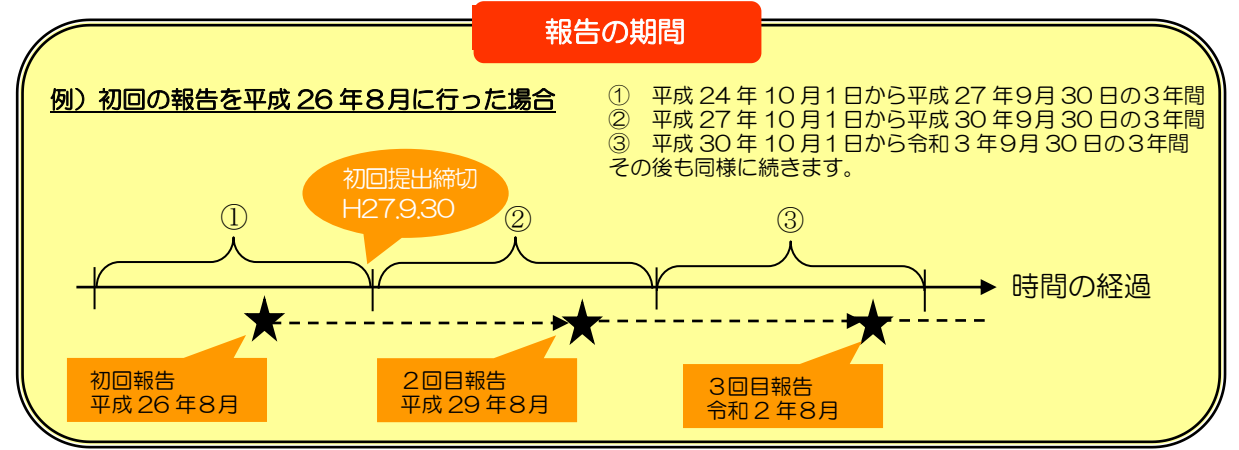
- 排出ガスに含まれる排煙指定物質*の種類
- 排水に含まれる排水指定物質*の種類
- 当該指定事業所で製造し、使用し、処理し、又は保管している特定有害物質* (過去において製造等していたものを含む。)の種類及びその種類ごとの使用期間
- 事業活動に伴って発生する炭化水素系特定物質*の種類及びその種類ごとの使用履歴
- 環境に係る組織体制の整備に係る事項

※詳細は2ページを参照

法令で測定等の義務が規定されている物質の管理状況等を自己チェックしていただく制度です。

(1) 報告の期間について

報告は3年ごとに行っていただきます。平成24年10月1日時点で指定事業所であった事業所については、初回報告は平成24年10月1日から平成27年9月30日までの3年間のうち、任意の時期に行っており、**2回目以降の報告は、前回の提出から3年後**に行う必要があります。



(2) 報告の内容について

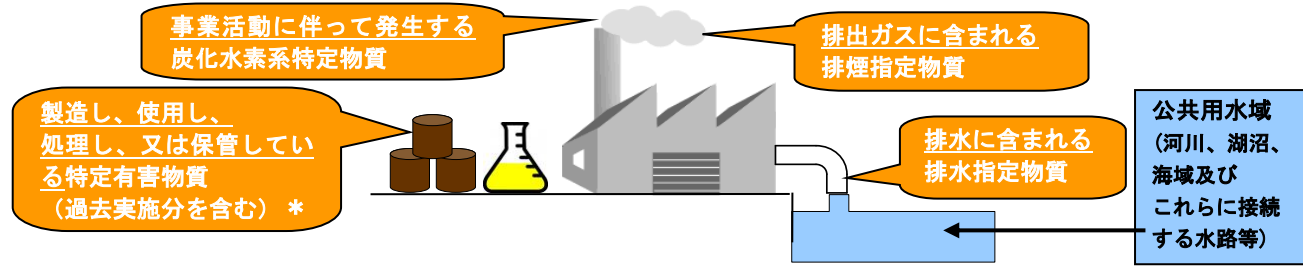
事業所において排出、使用等を行う化学物質の種類、使用履歴、管理状況等について、可能な限り直近の状況に基づいて**自己チェック**を行い、報告してください。

報告する際は、次の3つの様式(①~③)を全て提出してください。なお、化学物質を排出等していない場合は①(第18号様式の3)にその旨を記載することで、②(付表1)及び③(付表2)の添付を省略することができます。

- 報告書類**
- ① 指定事業所に係る化学物質管理状況報告書(第18号様式の3)
 - ② 化学物質の管理状況(第18号様式の3付表1)
 - ③ 環境に係る組織体制の整備に関する事項(第18号様式の3付表2)
- *③を提出する際は、環境に係る組織図及び連絡体制を記載したものを併せて提出してください。
 ⇒ 様式は県ホームページよりダウンロードしてください。

○ 報告の対象となる化学物質

第18号様式の3付表1に列挙され、事業所から排出等されている次の物質が対象になります。



第18号様式の3付表1に掲げる化学物質		測定等の義務を規定している法令	報告書記入事項
排出ガスに含まれる排煙指定物質	カドミウム及びその化合物、塩素、塩化水素、ふっ素、ふっ化水素及びふっ化珪素、鉛及びその化合物、アンモニア、シアン化合物、窒素酸化物 ^{*1} 、二酸化硫黄 ^{*2} 、硫化水素 ^{*1} : 燃料その他の物の燃焼又は熱源の電気の使用に伴い発生するものは除く。 ^{*2} : 燃料その他の物の燃焼に伴い発生するものは除く。	大気汚染防止法 県条例	・排出を開始した時期 ・排出施設の名称
排水に含まれる排水指定物質	カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機りん化合物、鉛及びその化合物、クロム及びその化合物、砒素及びその化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、ポリ塩化ビフェニル(PCB)、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、アンモニア・アンモニウム化合物・亜硝酸化合物及び硝酸化合物、クロロエチレン、1,4-ジオキサン、フェノール類、銅及びその化合物、亜鉛及びその化合物、鉄及びその化合物(溶解性のものに限る。)、マンガン及びその化合物(溶解性のものに限る。)、ニッケル及びその化合物	水質汚濁防止法 県条例	
使用等を行う特定有害物質	排水指定物質中、カドミウム及びその化合物からクロロエチレンまで ※1,2-ジクロロエチレンはシス体に限る	土壌汚染対策法 県条例	・使用期間 ・現在における使用の有無
事業活動に伴い発生する炭化水素系特定物質	ベンゼン、トルエン、キシレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、ホルムアルデヒド、フェノール	県条例	

* 特定有害物質の製造等の考え方

次の場合は、特定有害物質の「製造」「使用」「処理」「保管」に該当しません。

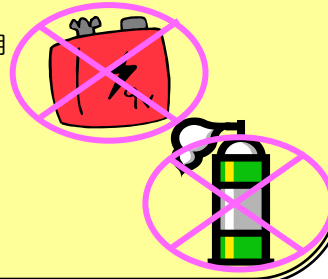
ア 「製造」「使用」「処理」に該当しない行為(代表例)

- ・ 特定有害物質を固体以外の状態にせず、かつ、粉状や粒状にしない状態での取扱い
- ・ 内部に特定有害物質が密閉された製品の使用
- ・ 添加剤として特定有害物質を微量(1%未満)含む物質の製造、使用又は処理
- ・ 特定有害物質を含む製品の使用であって、事業所の事業活動の主目的ではなく、一般消費者と同様に使用する行為

例) 燃料としてのガソリンの使用、設備の補修等を目的とした鉛含有塗料の使用

イ 「保管」に該当しない行為(代表例)

- ・ 不純物として非意図的に有害物質が含まれるものの保管
例) 不純物としてベンゼンを微量に含むガソリンの保管
- ・ 不純物として六価クロムを微量に含むセメントの保管
- ・ 内部にPCBが密封された廃電気機器(コンデンサー、トランス、蛍光灯安定器等)の保管



2 報告書の記入について

(1) 指定事業所に係る化学物質管理状況報告書(第18号様式の3)について

全ての指定事業所が記入してください。

Point!

- 「報告に係る期間」欄には、化学物質の棚卸し、計画や決算の期間等にあわせて、報告を行う直近3年間の状況について記入してください。
例) 事業所における事業年度や会計年度が4月から翌年3月の場合
令和4年6月に提出する場合: 「令和元年度から令和3年度まで」と記入
令和5年1月に提出する場合: 「令和元年度から令和3年度まで」と記入
- 代理人が報告する場合であっても、化学物質の管理に責任を有する者が規則で決められている等、法人内部で適切な委任行為が行われている場合には、委任状等の「当該報告についての権限を有することを証する書類」を添付する必要はありません。

(2) 化学物質の管理状況(第18号様式の3付表1)について

報告の対象となる化学物質(法令上測定等の義務がある物質)について自己チェックするものです。報告の対象となる物質を排出、使用等している場合は、記入する必要があります。

Point!

第18号様式の3(第40条の4関係)(付表1)(表)(用紙: 日本工業規格A4縦長型) 化学物質の管理状況

名称	*③ 排出を開始した年	*④ 排出施設の名称
<input type="checkbox"/> カドミウム及びその化合物		
<input type="checkbox"/> 塩素		
*① <input type="checkbox"/> 塩化水素	昭和○年	廃棄物焼却炉(指定施設以外)
<input type="checkbox"/> 弗素、弗化水素及び弗化珪素		
<input type="checkbox"/> 鉛及びその化合物		
<input checked="" type="checkbox"/> アンモニア	平成○年	産ガス洗浄施設(指定施設以外)
<input type="checkbox"/> 窒素酸化物		
<input type="checkbox"/> シアン化合物		
<input type="checkbox"/> 酸化水素		
<input type="checkbox"/> 二酸化硫黄		
<input type="checkbox"/> 硫化水素		
<input type="checkbox"/> カドミウム及びその化合物	昭和○年	64(3)めっき施設
<input checked="" type="checkbox"/> シアン化合物		
<input type="checkbox"/> 有機磷化合物		
<input type="checkbox"/> 鉛及びその化合物		
<input type="checkbox"/> クロム及びその化合物		
<input type="checkbox"/> 砒素及びその化合物		
<input type="checkbox"/> 水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物		
<input type="checkbox"/> ポリ塩化ビフェニル		
<input type="checkbox"/> トリクロロエチレン		
<input type="checkbox"/> テトラクロロエチレン		
<input type="checkbox"/> ジクロロメタン		
*② <input type="checkbox"/> 四塩化炭素		
<input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエタン		
<input type="checkbox"/> 1,1-ジクロロエチレン		
<input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエチレン		
<input type="checkbox"/> 1,1,1-トリクロロエタン		
<input type="checkbox"/> 1,1,2-トリクロロエタン		
<input type="checkbox"/> 1,3-ジクロロプロペン		
<input type="checkbox"/> チウラム		
<input type="checkbox"/> シマジン		
<input type="checkbox"/> チオベンカルブ		
<input type="checkbox"/> ベンゼン		
<input type="checkbox"/> セレン及びその化合物		
<input type="checkbox"/> ほう素及びその化合物		
<input type="checkbox"/> ふっ素及びその化合物		
<input type="checkbox"/> カドミウム及びその化合物		
<input checked="" type="checkbox"/> アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	平成○年	15(7)分離施設
<input type="checkbox"/> クロロエチレン		
<input type="checkbox"/> 1,4-ジオキサン		
<input type="checkbox"/> フェノール類		
<input checked="" type="checkbox"/> 銅及びその化合物	昭和○年	64(1)表面処理施設

付表1 表

(表)

名称	排出を開始した年	排出施設の名称
<input type="checkbox"/> 亜鉛及びその化合物		
<input type="checkbox"/> 鉄及びその化合物(溶解性のものに限る。)		
<input type="checkbox"/> マンガン及びその化合物(溶解性のものに限る。)		
<input checked="" type="checkbox"/> ニッケル及びその化合物	昭和○年	64(3)めっき施設
名称	*⑤ 使用期間	*⑥ 現在における使用の有無
<input type="checkbox"/> カドミウム及びその化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> シアン化合物	昭和○年～平成○年	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 有機磷化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 鉛及びその化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 六価クロム化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 砒素及びその化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ポリ塩化ビフェニル	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> トリクロロエチレン	昭和○年～平成○年	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> テトラクロロエチレン	昭和○年～平成○年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ジクロロメタン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 四塩化炭素	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエタン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 1,1-ジクロロエチレン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエチレン(シス体に限る。)	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 1,1,1-トリクロロエタン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 1,1,2-トリクロロエタン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 1,3-ジクロロプロペン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> チウラム	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> シマジン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> チオベンカルブ	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ベンゼン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> セレン及びその化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ほう素及びその化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ふっ素及びその化合物	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> クロロエチレン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ベンゼン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
*⑦ <input checked="" type="checkbox"/> トルエン	昭和○年～現在	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> キシレン	昭和○年～現在	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> トリクロロエチレン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> テトラクロロエチレン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ジクロロメタン	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> フェノール	年～年	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

付表1 裏

- ①排煙指定物質: 現在排出している排煙指定物質の名称にシ点を記入してください。ただし、燃料その他の物の燃焼又は熱源としての電気の使用に伴い発生する窒素酸化物、燃料その他の物の燃焼に伴い発生する二酸化硫黄は除きます。
- ②排水指定物質: 現在排水している排水指定物質の名称にシ点を記入してください。
- ③排出を開始した年: 報告期間の3年間に限定せず、過去に遡って記入してください。なお、排水指定物質の場合で、公共用水域への排水から、公共下水道接続や全量委託処理に変更した物質については記載する必要はありません。
- ④排出施設の名称: 排出(排水)施設が指定施設の場合はその番号及び種類を、指定外施設の場合には具体的に施設の名称を記入してください。なお、排水指定物質の排水施設は、排水元の施設を記入してください。
例) 「64(3)めっき施設」、「廃棄物焼却炉(指定施設以外)」
- ⑤使用期間: 報告期間の3年間に限定せず、過去に遡って記入してください。特定有害物質については、使用等(製造・使用・処理・保管)の期間、炭化水素系物質については使用期間を記入してください。
- ⑥現在における使用の有無: 特定有害物質については、全量委託処理の場合も記入する必要があります。
- ⑦炭化水素系特定物質: 炭化水素系特定物質のうち、特定有害物質と重複する物質については、特定有害物質の欄で記入した場合は省略することができます。
- ⑧記録上判明している期間: 備考の4に記載している「記録上判明している期間」には、前会社から引き継いだ記録等は含まれません。

備考 1 □のある欄には、該当する□内に4印を記入してください。
2 有機磷化合物は、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限り、3 排出施設の名称の欄には、排出する施設が複数ある場合は、全ての施設の名称を記入してください。
*⑧ 4 使用期間の欄には、記録上判明している期間を記入してください。